



平成30年3月16日

各 位

東京都目黒区大橋一丁目5番1号  
株式会社カイカ  
代表取締役社長 鈴木 伸  
(JASDAQ: 2315)  
問合せ先:  
代表取締役専務 山口 健治  
TEL 03-5657-3000 (代表)

(訂正・数値データ訂正)「平成30年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」  
の一部訂正について

平成30年3月12日付「平成30年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部に訂正がありましたので下記のとおりお知らせいたします。

訂正箇所には下線を付しております。

## 記

訂正箇所および内容

- I. 3ページ、(1) 経営成績に関する説明
- II. 8ページ、(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
- III. 11ページ、(追加情報)(5) 仮想通貨の時価等に関する事項

I. 3ページ、(1) 経営成績に関する説明

### 【訂正前】

利益面では、営業利益は、仮想通貨プラットフォームのシステムの先行投資により費用が増加いたしました。これらの結果、営業利益は減益となったものの、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、当社における仮想通貨運用により営業外収益として仮想通貨売却益915百万円、特別利益として債権回収益<sup>※1</sup>183百万円を計上したことにより、前年同四半期に比べ大幅な増益となりました。

(中略)

※1 仮想通貨建て債権を回収した時点での時価と移動平均法により算出した原価との差額を債権回収益として計上しております。

### 【訂正後】

利益面では、営業利益は、仮想通貨プラットフォームのシステムの先行投資により費用が増加いたしました。これらの結果、営業利益は減益となったものの、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、当社における仮想通貨運用により営業外収益として仮想通貨売却益915百万円、特別利益として仮想通貨評価益<sup>※1</sup>183百万円を計上したことにより、前年同四半期に比べ大幅な増益となりました。

(中略)

※1 長期投資目的からトレーディング目的に仮想通貨の保有目的を変更した時点での時価と移動平均法により算出した原価との差額を仮想通貨評価益として計上しております。

Ⅱ. 8 ページ、(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

【訂正前】

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1 四半期連結累計期間 (自 平成28年11月1日 至 平成29年1月31日)	当第1 四半期連結累計期間 (自 平成29年11月1日 至 平成30年1月31日)
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2,968	1,557
債権回収益	-	183,811
特別利益合計	2,968	185,369

【訂正後】

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1 四半期連結累計期間 (自 平成28年11月1日 至 平成29年1月31日)	当第1 四半期連結累計期間 (自 平成29年11月1日 至 平成30年1月31日)
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2,968	1,557
仮想通貨評価益	-	183,811
特別利益合計	2,968	185,369

Ⅲ. 11 ページ、(追加情報) (5) 仮想通貨の時価等に関する事項

【訂正前】

(5) 仮想通貨の時価等に関する事項

四半期連結貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、以下の通りであります。なお、活発な市場が存在しない仮想通貨については時価を把握する事が極めて困難と認められるため、次表には含んでおりません。

(単位：千円)

	四半期連結貸借対照表計上額	時価	差額
仮想通貨	11,301	10,890	△141

【訂正後】

(5) 仮想通貨の時価等に関する事項

四半期連結貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、以下の通りであります。なお、活発な市場が存在しない仮想通貨については時価を把握する事が極めて困難と認められるため、次表には含んでおりません。

(単位：千円)

	四半期連結貸借対照表計上額	時価	差額
仮想通貨	10,890	10,890	＝

以上